

令和 6 年
秋田市における交通事故状況

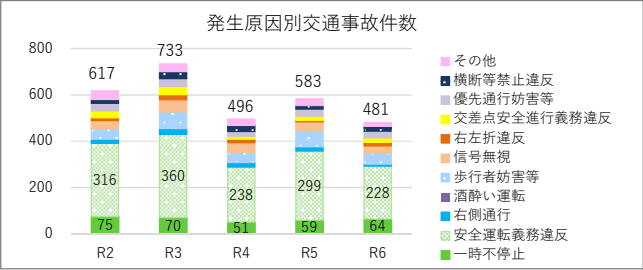
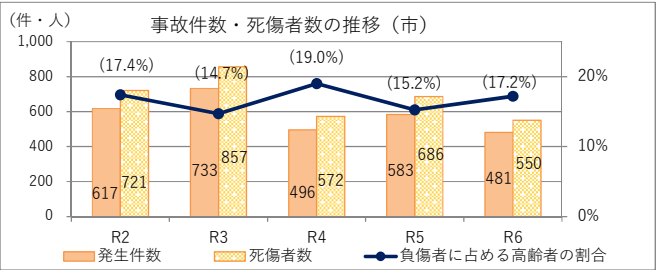
1. 全体、年齢別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

年	秋田県								秋田市							
	件数	死者数			負傷者数			重傷者数	件数	死者数			負傷者数			重傷者数
		全数	中学生 以下	65歳 以上	全数	中学生 以下	65歳 以上	全数		全数	中学生 以下	65歳 以上	全数	中学生 以下	65歳 以上	全数
R2	1,377	37	0 －	26 (70.3%)	1,655	82 (5.0%)	363 (21.9%)	251	617 (44.8%)	9 (24.3%)	0 －	6 (66.7%)	712 (43.0%)	29 (4.1%)	124 (17.4%)	81
R3	1,301	28	1 (3.6%)	23 (82.1%)	1,514	82 (5.4%)	321 (21.2%)	186	733 (56.3%)	6 (21.4%)	0 －	5 (83.3%)	851 (56.2%)	52 (6.1%)	125 (14.7%)	68
R4	1,157	33	0 －	21 (63.6%)	1,351	77 (5.7%)	331 (24.5%)	188	496 (42.9%)	4 (12.1%)	0 －	1 (25.0%)	568 (42.0%)	34 (6.0%)	108 (19.0%)	61
R5	1,155	32	0 －	21 (65.6%)	1,339	76 (5.7%)	266 (19.9%)	170	583 (50.5%)	4 (12.5%)	0 －	1 (25.0%)	682 (50.9%)	38 (5.6%)	104 (15.2%)	55
R6	981	31	0 －	26 (83.9%)	1,141	53 (4.6%)	229 (20.1%)	197	481 (49.0%)	3 (9.7%)	0 －	3 (100.0%)	547 (47.9%)	28 (5.1%)	94 (17.2%)	61

・第11次目標：R3～R7 年間交通事故死者数4人（27人）以下、重傷者数64人（200人）以下
※（ ）は県目標

2. 発生原因別交通事故数

		R2	R3	R4	R5	R6
総数		617	733	496	583	481
一時不停止		75	70	51	59	64
安全運転義務違反	ハンドル操作不適	2	8	1	3	2
	ブレーキ動作不適	43	94	68	55	56
	前方不注意	128	128	80	116	72
	動静不注意	50	47	35	43	36
	安全不確認	88	80	50	78	57
	安全速度	2	2	0	1	2
	予測不適	0	0	1	0	2
	その他	3	1	3	3	1
	計	316	360	238	299	228
右側通行		16	23	19	18	9
酒酔い運転		1	2	0	0	0
歩行者妨害等		47	72	45	70	47
信号無視		34	51	41	37	32
右左折違反		13	23	14	7	15
交差点安全進行義務違反		28	35	13	18	19
優先通行妨害等		34	34	21	31	29
横断等禁止違反		17	30	26	14	21
その他		36	33	28	30	17



○状況等

本市における令和6年中の交通事故は、発生件数481件、死傷者数550人で前年と比較して、発生件数は102件、死傷者数は136人減少した。死傷者数はそれぞれ減少したものの、死者数に占める65歳以上の割合は100%となっており、継続して高齢者の事故防止に取り組む必要がある。発生原因別事故では、前方不注意や安全不確認などの安全運転義務違反（全事故の47.4%）と一時不停止（全事故の13.3%）の法令違反、歩行者妨害等（全事故の9.8%）が原因となる事故が多く、これらで全体の7割以上を占める状況となっている。

3. 車種別の第一当事者となる交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

年	区分\場所	自転車		二輪車		乗用自動車		貨物自動車		その他(不明等)		合計
R2	発生件数	3	(0.5%)	3	(0.5%)	518	(84.0%)	90	(14.6%)	3	(0.5%)	617
	死者数	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(44.4%)	5	(55.6%)	0	(0.0%)	9
	負傷者数	3	(0.4%)	5	(0.7%)	602	(84.6%)	99	(13.9%)	3	(0.4%)	712
	重傷者数	2	(2.5%)	0	(0.0%)	70	(86.4%)	9	(11.1%)	0	(0.0%)	81
R3	発生件数	5	(0.7%)	0	(0.0%)	628	(85.7%)	98	(13.4%)	2	(0.3%)	733
	死者数	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	6
	負傷者数	5	(0.6%)	0	(0.0%)	735	(86.4%)	109	(12.8%)	2	(0.2%)	851
	重傷者数	2	(2.9%)	0	(0.0%)	58	(85.3%)	8	(11.8%)	0	(0.0%)	68
R4	発生件数	2	(0.4%)	0	(0.0%)	415	(83.7%)	73	(14.7%)	6	(1.2%)	496
	死者数	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	3	(75.0%)	0	(0.0%)	4
	負傷者数	2	(0.4%)	0	(0.0%)	479	(84.3%)	79	(13.9%)	8	(1.4%)	568
	重傷者数	2	(3.3%)	0	(0.0%)	49	(80.3%)	9	(14.8%)	1	(1.6%)	61
R5	発生件数	5	(0.9%)	1	(0.2%)	503	(86.3%)	74	(12.7%)	0	(0.0%)	583
	死者数	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(75.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	4
	負傷者数	5	(0.7%)	1	(0.1%)	591	(86.7%)	85	(12.5%)	0	(0.0%)	682
	重傷者数	3	(5.5%)	0	(0.0%)	44	(80.0%)	8	(14.5%)	0	(0.0%)	55
R6	発生件数	3	(0.6%)	0	(0.0%)	414	(86.1%)	64	(13.3%)	0	(0.0%)	481
	死者数	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	3
	負傷者数	3	(0.5%)	0	(0.0%)	471	(86.1%)	73	(13.3%)	0	(0.0%)	547
	重傷者数	1	(1.6%)	0	(0.0%)	52	(85.2%)	8	(13.1%)	0	(0.0%)	61

4. 類型別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

事故類型		人 対 自動車				自転車 対 自動車				自動車相互				車両単独			
		発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数
R2	617	84	4	83	27	109	1	108	20	414	2	512	30	8	2	7	3
R3	733	103	4	100	30	140	1	139	17	479	1	601	18	6	0	6	1
R4	496	65	0	67	26	65	0	65	11	355	2	426	20	9	2	8	2
R5	583	89	3	86	21	96	0	96	14	387	1	484	14	6	0	11	3
R6	481	68	0	70	27	100	0	100	17	301	1	366	15	10	2	9	2

事故類型		人 対 自転車				自転車相互				自転車単独				列車			
		発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数
R2		1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
R3		5	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R4		0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
R5		3	0	3	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0
R6		1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5. 安全運転管理者選任事業所の事故発生件数、死者数、負傷者数 ※重傷者数統計なし

年\区分	事業所数	発生件数		死者数		負傷者数	
R2	1,315	141	(22.9%)	2	(22.2%)	160	(22.5%)
R3	1,335	149	(20.3%)	0	(0.0%)	173	(20.3%)
R4	1,477	123	(24.8%)	1	(25.0%)	135	(23.8%)
R5	1,520	154	(26.4%)	2	(50.0%)	182	(26.7%)
R6	1,518	122	(25.4%)	1	(33.3%)	136	(24.9%)

○状況等

交通事故の第一当事者を車種別に見ると、乗用・貨物自動車の発生件数が全事故の約99.4%と最も多い。
発生件数の類型別で最も多いのは自動車相互の301件（全事故の62.6%）で、次いで自転車対自動車が100件（同20.8%）、人対自動車が68件（同14.1%）となっている。
安全運転管理者選任事業所が起こした事故数は122件（全事故の25.4%）、負傷者数は136人（同24.9%）とそれぞれ前年よりも減少しており、死者数は1人となっている。

6. 道路別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

種別		国道				県道	市道	自専道	その他 道路	合計	※「その他道路」 とは、港湾道路・ 林道・農免道路・ 公園道路等であ る。
		7号	13号	341号	計						
R2	発生件数	56	58	0	114	191	262	3	47	617	
	死者数	1	2	0	3	3	1	0	2	9	
	負傷者数	68	71	0	139	227	292	3	51	712	
	重傷者数	9	3	0	12	25	40	0	4	81	
R3	発生件数	62	42	0	104	241	342	2	44	733	
	死者数	2	0	0	2	2	2	0	0	6	
	負傷者数	78	51	0	129	278	395	2	47	851	
	重傷者数	8	2	0	10	16	35	0	7	68	
R4	発生件数	46	35	0	81	137	242	0	36	496	
	死者数	0	1	0	1	0	3	0	0	4	
	負傷者数	65	41	0	106	147	275	0	40	568	
	重傷者数	5	1	0	6	18	32	0	5	61	
R5	発生件数	50	51	0	101	194	265	0	23	583	
	死者数	1	0	0	1	1	2	0	0	4	
	負傷者数	53	70	0	123	235	301	0	23	682	
	重傷者数	3	6	0	9	15	30	0	1	55	
R6	発生件数	31	40	0	71	148	232	2	28	481	
	死者数	0	1	0	1	0	2	0	0	3	
	負傷者数	40	47	0	87	172	258	2	28	547	
	重傷者数	4	6	0	10	20	28	0	3	61	

7. 道路地形別、形状別、線形別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

種別		地形			形状					線形			
		市街地	非市街地	計	交差点	単路	踏切	一般交 通の場	計	カーブ	直線	一般交 通の場	計
R2	発生件数	552	65	617	406	167	0	44	617	25	548	44	617
	死者数	8	1	9	3	4	0	2	9	1	6	2	9
	負傷者数	629	83	712	472	193	0	47	712	30	635	47	712
	重傷者数	69	12	81	57	20	0	4	81	2	75	4	81
R3	発生件数	674	59	733	493	199	1	40	733	23	670	40	733
	死者数	4	2	6	5	1	0	0	6	0	6	0	6
	負傷者数	782	69	851	574	233	1	43	851	25	783	43	851
	重傷者数	62	6	68	45	17	0	6	68	4	58	6	68
R4	発生件数	454	42	496	313	152	0	31	496	18	447	31	496
	死者数	3	1	4	4	0	0	0	4	0	4	0	4
	負傷者数	522	46	568	356	178	0	34	568	22	512	34	568
	重傷者数	57	4	61	41	15	0	5	61	5	51	5	61
R5	発生件数	524	59	583	364	199	0	20	583	34	529	20	583
	死者数	4	0	4	0	4	0	0	4	1	3	0	4
	負傷者数	609	73	682	426	236	0	20	682	38	624	20	682
	重傷者数	47	8	55	37	17	0	1	55	5	49	1	55
R6	発生件数	436	45	481	307	148	0	26	481	10	445	26	481
	死者数	1	2	3	0	3	0	0	3	0	3	0	3
	負傷者数	494	53	547	342	179	0	26	547	11	510	26	547
	重傷者数	56	5	61	40	19	0	2	61	0	59	2	61

※市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上わたって住宅、事業所等が連立している状態であり、その地域における建造物（敷地を含む。）の占める割合が80%になるいわゆる市街地的形態をなしている地域をいう。

○状況等

交通事故発生件数を道路別で見ると、市道が232件（全事故の48.2%）、県道が148件（同30.8%）、国道が71件（同14.8%）、その他道路が28件（同5.8%）、自動車専用道路が2件（同0.4%）となっているが、道路延長距離から見た10k m当たりの発生件数は、国道が最も高くなっている。（※参考：道路別10k m当たりの発生件数 国道15.2件、県道4.1件、市道1.2件）。

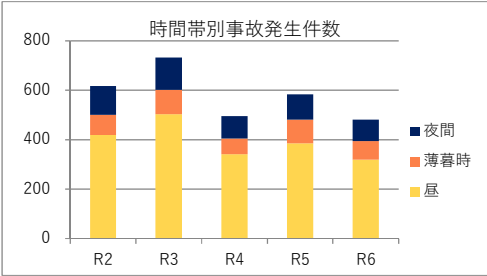
道路の地形別で見ると非市街地より市街地（全事故の90.6%）での事故が多く、道路形状別では交差点（同63.8%）での事故が多い。また、道路線形別では、直線での事故（同92.5%）が最も多い。

8. 時間帯別 昼(日の出～日没まで(薄暮時を除く)、薄暮時(日の出・日没の前後1時間)、夜間(日没～日の出まで)における交通事故件数、死者数、負傷者数(うち重傷者数)

年	区分\時間帯	昼		薄暮時		夜間		合計
R2	発生件数	419	(67.9%)	82	(13.3%)	116	(18.8%)	617
	死者数	4	(44.4%)	0	－	5	(55.6%)	9
	負傷者数	479	(67.3%)	95	(13.3%)	138	(19.4%)	712
	重傷者数	50	(61.7%)	8	(9.9%)	23	(28.4%)	81
R3	発生件数	504	(68.8%)	98	(13.4%)	131	(17.9%)	733
	死者数	2	(33.3%)	0	－	4	(66.7%)	6
	負傷者数	588	(69.1%)	105	(12.3%)	158	(18.6%)	851
	重傷者数	48	(70.6%)	8	(11.8%)	12	(17.6%)	68
R4	発生件数	341	(68.8%)	64	(12.9%)	91	(18.3%)	496
	死者数	3	(75.0%)	0	－	1	(25.0%)	4
	負傷者数	391	(68.8%)	74	(13.0%)	103	(18.1%)	568
	重傷者数	36	(59.0%)	9	(14.8%)	16	(26.2%)	61
R5	発生件数	385	(66.0%)	96	(16.5%)	102	(17.5%)	583
	死者数	2	(50.0%)	1	(25.0%)	1	(25.0%)	4
	負傷者数	467	(68.5%)	103	(15.1%)	112	(16.4%)	682
	重傷者数	33	(60.0%)	8	(14.5%)	14	(25.5%)	55
R6	発生件数	319	(66.3%)	75	(15.6%)	87	(18.1%)	481
	死者数	2	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	3
	負傷者数	366	(66.9%)	82	(15.0%)	99	(18.1%)	547
	重傷者数	36	(59.0%)	7	(11.5%)	18	(29.5%)	61

9. 飲酒事故発生件数、死者数、負傷者数(うち重傷者数)

年\区分	飲酒運転			
	件数	死者数	負傷者数	重傷者数
R2	4 (0.6%)	0 ー	4 (0.6%)	0 ー
R3	4 (0.5%)	0 ー	8 (0.9%)	0 ー
R4	5 (1.0%)	0 ー	6 (1.1%)	1 (1.6%)
R5	9 (1.5%)	0 ー	10 (1.5%)	0 ー
R6	8 (1.7%)	0 ー	10 (1.8%)	3 (4.9%)



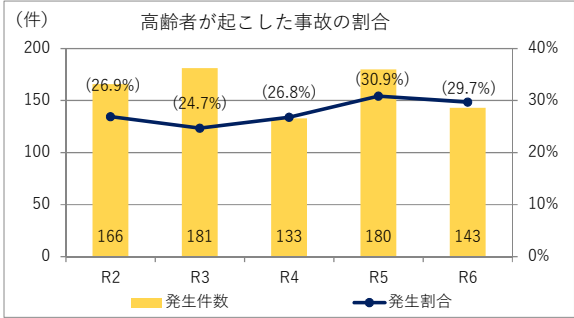
○状況等

交通事故発生件数を時間帯別に見ると、昼が319件(事故全体の66.3%)、夜間が87件(同18.1%)、薄暮時が75件(同15.6%)となっており、全ての時間帯において、前年と比較して事故数は減少、発生件数全体に占める割合は横ばいとなっている。

また、交通事故の総数に占める飲酒事故の割合は低い水準で推移している。しかし、依然として事故はなくなり、平成30年以降は死者こそ出ていないものの、事故に伴う負傷者は毎年発生しており、令和6年度は重傷者が3名発生している。

10. 発生事故のうち高齢者が起こした事故数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数
R2	166 (26.9%)	2 (22.2%)	189 (26.5%)	24 (29.6%)
R3	181 (24.7%)	0 (0.0%)	215 (25.3%)	19 (27.9%)
R4	133 (26.8%)	1 (25.0%)	143 (25.2%)	22 (36.1%)
R5	180 (30.9%)	1 (25.0%)	215 (31.5%)	19 (34.5%)
R6	143 (29.7%)	3 (100.0%)	169 (30.9%)	16 (26.2%)



11. 高齢者の死傷状況

	R2	R3	R4	R5	R6
高齢死者数	6	5	1	1	3
歩行中	3 (50.0%)	4 (80.0%)	0 -	1 (100.0%)	0 -
自転車運転中	1 (16.7%)	1 (20.0%)	0 -	0 -	0 -
車運転中	2 (33.3%)	0 -	1 (100.0%)	0 -	2 (66.7%)
車同乗中	0 -	0 -	0 -	0 -	1 (33.3%)
高齢者負傷者数	124	125	108	104	94
歩行中	29 (23.4%)	33 (26.4%)	24 (22.2%)	24 (23.1%)	24 (25.5%)
自転車運転中	23 (18.5%)	21 (16.8%)	13 (12.0%)	15 (14.4%)	21 (22.3%)
車運転中	55 (44.4%)	56 (44.8%)	48 (44.4%)	45 (43.3%)	40 (42.6%)
車同乗中	17 (13.7%)	15 (12.0%)	23 (21.3%)	20 (19.2%)	9 (9.6%)
高齢者重傷者数	35	33	30	21	24
歩行中	17 (48.6%)	17 (51.5%)	15 (50.0%)	9 (42.9%)	14 (58.3%)
自転車運転中	7 (20.0%)	6 (18.2%)	7 (23.3%)	4 (19.0%)	5 (20.8%)
車運転中	8 (22.9%)	5 (15.2%)	5 (16.7%)	5 (23.8%)	5 (20.8%)
車同乗中	3 (8.6%)	5 (15.2%)	3 (10.0%)	3 (14.3%)	0 -

○状況等

交通事故発生件数の減少に伴い、高齢者が起こした事故件数も143件と、前年と比較して37件減少している。さらに、全事故に占める高齢者が起こした事故の割合は昨年度より1.2%減少している。

また、高齢者の死傷状況は、死者3人のうち全数が高齢者であり、このうち2人が車運転中に事故にあっている。負傷者は547人のうち高齢者が94人で全負傷者の17.2%だが、重傷者は61人のうち高齢者が24人で全重傷者の39.3%を占めており、高齢者ほど重傷事故となるケースが多い状況である。状態別で見ると、車運転中が40人で高齢負傷者の42.6%と最も多い。

12. 子どもの死傷状況

	R2	R3	R4	R5	R6
子ども死者数	0	0	0	0	0
歩行中	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
自転車運転中	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
車同乗中	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
子ども負傷者数	29	52	34	38	28
全負傷者数に対する割合	4.1%	6.1%	6.0%	5.6%	5.1%
歩行中	4 (13.8%)	19 (36.5%)	10 (29.4%)	9 (23.7%)	6 (21.4%)
自転車運転中	3 (10.3%)	13 (25.0%)	11 (32.4%)	10 (26.3%)	11 (39.3%)
車同乗中	22 (75.9%)	20 (38.5%)	13 (38.2%)	19 (50.0%)	11 (39.3%)
子ども重傷者数	1	8	2	3	1
歩行中	0 -	6 (75.0%)	0 -	0 -	1 (100.0%)
自転車運転中	0 -	2 (25.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	0 -
車同乗中	1 (100.0%)	0 -	0 -	0 -	0 -

13. ゾーン30の指定区域数

※令和7年3月末現在

警察署名	区域数	指定区域場所
臨港署	6	飯島南小・飯島中、高清水小・将軍野中、土崎南小、土崎小、寺内小、土崎港中央（病院・高齢者施設付近）
中央署	14	中通小学校、牛島小学校、旭北小学校・山王中学校、八橋小学校、勝平小学校、日新小学校、明德小学校、保戸野すわ町・中町・通町、旭南小学校付近、川尻小学校、泉・八橋、仁井田小学校付近、築山小学校、大住小学校
東 署	4	東小、旭川小、広面小、桜小・桜中付近

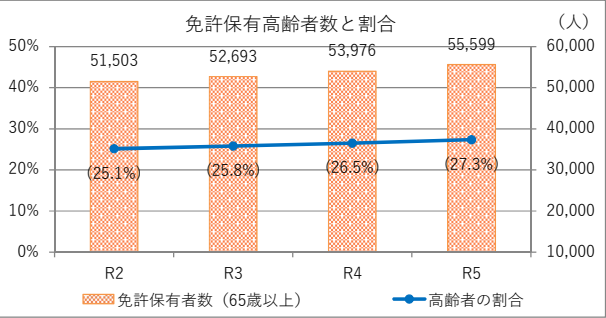
○状況等

子どもの死傷状況では、平成26年から死者数はなし。負傷者は28人で全事故負傷者数の5.1%となっている。令和2年度まで減少傾向にあった子どもの負傷者数の割合は令和3年に若干増加したが、その後は毎年微減となっている。

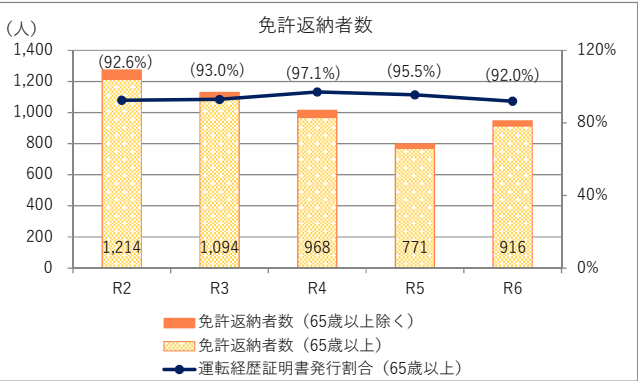
状態別で見ると、車同乗中が11人（39.3%）で前年より10.7%減少し、自転車運転中が11人（39.3%）と、前年に比べて割合が13.0%増加している。自転車運転中の事故による負傷案件が毎年発生していることから、子どもへの効果的な交通安全教育等を一層推進する必要がある。

14. 免許人口、免許返納者数

年度		免許保有者数		免許返納者数	運転経歴証明書 発行者数	返納割合	運転経歴証明書 発行割合
R2	総数	204,801		1,273	1,178	0.6%	92.5%
	うち65歳以上	51,503	(25.1%)	1,214	1,124	2.4%	92.6%
R3	総数	204,260		1,130	1,048	0.6%	92.7%
	うち65歳以上	52,693	(25.8%)	1,094	1,017	2.1%	93.0%
R4	総数	203,674		1,014	978	0.5%	96.4%
	うち65歳以上	53,976	(26.5%)	968	940	1.8%	97.1%
R5	総数	203,331		799	758	0.4%	94.9%
	うち65歳以上	55,599	(27.3%)	771	736	1.4%	95.5%
R6	総数	202,117		946	866	0.5%	91.5%
	うち65歳以上	-	-	916	843	-	92.0%



・免許返納にかかる協賛店舗数(県警ホームページより)
370店舗(全県)うち秋田市50店舗 ※令和7年5月1日現在



○状況等

免許返納者総数、65歳以上の免許返納者数ともに、令和2年以降減少に転じている。また、返納者の大半が運転経歴証明書の交付を受けている状況である。

15. シートベルト着用率 (全県)

年\区分	シートベルト着用率(%)		
	運転席	助手席	後部座席
R2	99.4	98.4	41.3
R3	99.6	94.6	48.5
R4	99.8	98.0	42.9
R5	99.8	98.8	42.3
R6	99.7	96.7	47.6

※一般道においてJ A F と合同調査(毎年10月中の3日間)

○状況等

運転席や助手席においてはほとんどの人がシートベルトを着用しているが、後部座席での着用率は4割程度に留まっている。
全国平均は、運転席99.2%、助手席96.8%、後部座席45.5%であり、秋田県のシートベルト着用率は全国平均とほぼ同程度となっている。

16. 踏切事故発生件数

	発生件数
R2	0
R3	1
R4	0
R5	0
R6	0

17. 冬期間事故発生件数 (12月～3月)

	R2	R3	R4	R5	R6
発生件数	279	229	179	149	181
死者数	5	0	0	0	3
負傷者数	339	275	211	173	218
重傷者数	24	27	28	25	14

○状況等

令和6年度は踏切事故の発生がなかった。
冬期間の事故発生状況については、発生件数、負傷者数はいずれも前年と比較して増加している。また、全死者数に占める割合は100%となっており、冬期間の事故は重大な事故につながるケース多い状況である。そのため、冬期間の交通安全について引き続き啓発等の安全対策に取り組む必要がある。